

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
発達障害作業療法治療学			必修	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡辺 俊太郎		C318	csehrrou00032		木曜日 10:40～11:10	
授業の目的・概要	発達障害の特性を知り、発達作業療法評価学演習で学んだ知識に基づいた治療の構造を理解する事を目的とする。以下の内容の習得を目指す。①発達障害領域の作業療法の役割と作業療法を実践する上での必要な知識、視点について理解する。②事例検討を通して、疾患ごとの評価・治療の全体像を知り、対象児の特性に合わせた治療プログラムの立案ができる基礎を身につける。この講義は、同時双方向型授業等の遠隔授業で行っていく。					
学習上の助言	発達作業療法評価学演習で学んで代表的なアセスメントを理解していることを踏まえて疾患ごとの評価—統合—治療について説明を行う。事前に教科書(脳性麻痺児、ASD、ADHD、SLD)で復習し授業に臨むことが望ましい。					
教科書	イラストで分かる発達障害の作業療法 監修：上杉雅之 / 医歯薬出版株式会社 / 2017 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 作業療法評価学 監修：矢谷令子 / 医学書院 / 2017 「教科書2冊」 必要に応じてプリント配布					
参考書	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	脳性麻痺児・神経発達障害の障害特性について理解する				HSU(2)、OT(2)	
②	脳性麻痺児(痙直型、アテトーゼ型)の評価と支援について理解する				HSU(2)、OT(2)	
③	神経発達障害(ASD、ADHD、SLD)の評価と支援について理解する				HSU(2)、OT(2)	
④	事例(脳性麻痺児・神経発達障害)を通して、支援方法について検討できる				HSU(2)、OT(1)～(3)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	ASDに対する作業療法について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の ASD の項を読み授業資料とともに復習する。 4			
2	ASDに対する作業療法について学ぶ<事例>。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の ASD の項を読み授業資料とともに復習する。事例を読みまとめる。 4			
3	ADHDに対する作業療法について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の ADHD の項を読み授業資料とともに復習する。 4			
4	ADHDに対する作業療法について学ぶ<事例>。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の ADHD の項を読み授業資料とともに復習する。事例を読みまとめる。 4			
5	脳性麻痺児(痙直型)に対する作業療法について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の脳性麻痺児(痙直型)の項を読み授業資料とともに復習する。 4			
6	脳性麻痺児(痙直型)に対する作業療法について学ぶ<事例>。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の脳性麻痺児(痙直型)の項を読み授業資料とともに復習する。事例を読みまとめる。 4			
7	脳性麻痺児(アテトーゼ型)に対する作業療法について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の脳性麻痺児(アテトーゼ型)の項を読み授業資料とともに復習する。 4			
8	脳性麻痺児(アテトーゼ型)に対する作業療法について学ぶ <事例>。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の脳性麻痺児(アテトーゼ型)の項を読み授業資料とともに復習する。事例を読みまとめる。 4			
9	事例検討の流れについて学ぶ。 疾患の特徴把握と作業療法評価の抽出のしかたを学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事例について教科書、文献などで調べまとめる。 4			
10	事例検討：問題点の抽出、長期・短期目標の設定を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事例について教科書、文献などで調べまとめる。 4			
11	事例検討：治療プログラムの立て方を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義の中で用いた治療以外の方法を調べ、検討しまとめる。 4			
12	デュシェンヌ型筋ジストロフィー症に対する作業療法について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書のデュシェンヌ型筋ジストロフィー症の項を読み授業資料とともに復習する。 4			
13	SLDの治療に対する作業療法について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の SLD の項を読み授業資料とともに復習する。 4			

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

14	小児整形疾患（二分脊椎・分娩麻痺・骨形成不全症）に対する作業療法について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の小児整形疾患の項を読み、授業資料とともに復習する。	4
15	小児リハの支援制度、障害児の保護者への子育て支援について学ぶ。意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	小児リハの支援制度、障害児の保護者への子育て支援について調べまとめる。	4
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	0	50
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	10	50
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末の定期試験(筆記試験)を実施して評価する。発達分野における代表的な疾患の特性把握、評価、解釈、支援について問う。問題(回答)形式は、記述・穴埋め・選択式である。	試験問題および解答用紙は各自に返却し、解説する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	リアクションペーパー等を使用して、授業にて得た知識に対する思考・推論・創造する力、問題を発見・解決する力を評価する。	授業にて提出するリアクションペーパーに対して、授業中に討論する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備考

担当教員：◎渡辺俊太郎

教員の実務経験：作業療法士として10年以上の臨床経験。

実践的授業の内容：臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。

双方向型授業：Microsoft Teams を使用して行います。

授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意してください。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によりシラバスの変更がありうる可能性があります。